

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	尚学院国際ビジネスアカデミー
設置者名	学校法人 尚学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務	国際ビジネス本科(カレッジコース)	夜・通信	540時間	160時間	
	国際ビジネス本科(国際英米コース)	夜・通信	345時間	160時間	
	国際ビジネス本科(ワーキングスタディコース)	夜・通信	600時間	160時間	
	国際ビジネス本科(3年制)	夜・通信	345時間	240時間	
	国際ビジネス専修科	夜・通信	300時間	80時間	
教育・社会福祉	こども未来本科(2年制)	夜・通信	400時間	160時間	
	こども未来本科(4年制)	夜・通信	670時間	320時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HP(情報公開ページ) URL : https://www.siba.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚学院国際ビジネスアカデミー
設置者名	学校法人尚学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校HP（情報公開ページ）URL：<https://www.siba.ac.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	3年	フィジカル・メンタルヘルスケア
非常勤	琉球大学名誉教授	3年	学校運営
非常勤	会社役員	3年	企画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚学院国際ビジネスアカデミー
設置者名	学校法人尚学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
○国際ビジネス本科(3年制) 年度末において次年度カリキュラム編成。4月1日をめぐりに1年生、2年生、3年生のカリキュラム構成完了。タブレット端末使用による英語授業、外国人教師による英会話指導	
○国際ビジネス本科(2年制)カレッジコース タブレット端末使用による授業。年度末において次年度カリキュラム編成。4月1日をめぐりにカリキュラム構成完了。	
○国際ビジネス本科(2年制)ワーキングスタディコース、国際ビジネス専修科 年度末において次年度カリキュラム編成。企業実習先採用担当者のヒアリングを実施し4月1日をめぐりに構成完了。	
○国際ビジネス本科(2年制)国際英米コース 年度末において次年度カリキュラム編成。4月1日をめぐりに1年生、2年生のカリキュラム構成完了。タブレット端末使用による英語授業、外国人教師による英会話指導	
○こども未来本科(2年制) ・保育園実習や施設実習等、保育士、幼稚園教諭として勤務したときに有意義な実習を用意する。 ・幼保英検や実用英語検定、幼児体育指導者検定等、各種の検定を用意する。 ・12月から2月末において次年度カリキュラム編成並びに担当講師のヒアリングを実施し3月末日をめぐりに構成完了。	
○こども未来本科(4年制) ・学童保育実習や小学校実習ボランティアに取り組ませる ・パワーポイント検定に取り組ませる	
授業計画書の公表方法	https://www.siba.ac.jp/disclosure/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○国際ビジネス本科 (3年制)

各期末試験の結果・出席率・受講姿勢等、出席状況、英語クラス活動参加(プレゼンテーション・ディスカッションなど)、定期テストによる評価

○国際ビジネス本科 (2年制) カレッジコース

授業態度及び出席状況。小テストによる評価。併修校(近畿大学)の科目試験結果。

○国際ビジネス本科 (2年制) ワーキングスタディコース、国際ビジネス専修科

出席状況及び授業態度。企業実習先による勤務評価も含め総合的評価をする。

○国際ビジネス本科 (2年制) 国際英米コース

各期末試験の結果・出席率・受講姿勢等、出席状況、英語クラス活動参加(プレゼンテーション・ディスカッションなど)、定期テストによる評価。

○国際ビジネス本科 (2年制) 日本語ビジネスコース

出席ならびに授業態度、提出物等を基準に評価する。

○こども未来本科 (2年制)

出席状況及び授業態度を評価する。レポート、実技、模擬試験、単元終了時の科目試験等の成績を加味する。

○こども未来本科 (4年制)

出席状況及び授業態度を評価する。レポート、実技、模擬試験、科目試験の成績を評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

尚学院国際ビジネスアカデミーでは、GPA制度を成績評価の指標として取り入れています。このGPA制度は、進級・卒業のための学習計画を立て、卒業後の進路目標に近づくためにどのようなことを続けていけばよいのか、何が足りないのか、何が必要なのか、自分を見据えたうえで課題を見つけ活用をすることをねらいとしています。GPA値は以下の式で算出されます。ただし、GPA値は四捨五入して、表記は小数第1位までとする。

$$GPA = \frac{\{(修得科目の単位数) \times (取得科目のGP)\}}{\text{総履修登録単位数}}$$

実点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下	課題未提出 追試未受験
成績評価	秀	優	良	可	不可	不可
GP	4	3	2	1	0	0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.siba.ac.jp/disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○国際ビジネス本科（3年制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率80%以上 ・取得検定数2級以上 1個 3級以上 3個 ・留学の経験日数25日以上 <p>○国際ビジネス本科（2年制）カレッジコース</p> <p>卒業：出席率80%以上かつ単位取得率80%以上及び進路決定</p> <p>○国際ビジネス本科（2年制）ワーキングスタディコース、国際ビジネス専修科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業基準 出席率80%以上 ・検定基準……3級検定を3つ又は2級検定を1つ ・総時間数が1,700時間以上（2年制）、800時間以上（国際ビジネス専修科） <p>○国際ビジネス本科（2年制）国際英米コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率80%以上 ・取得検定数2級以上 1個 3級以上 3個 ・留学の経験日数25日以上 <p>○こども未来本科（2年制）</p> <p>卒業基準 出席率80%以上。検定を受検し、実習に参加し実習単位を取得する。</p> <p>○こども未来本科（4年制）</p> <p>卒業基準 出席率80%以上。検定を受検し、実習単位を取得する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.siba.ac.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	尚学院国際ビジネスアカデミー
設置者名	学校法人尚学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校HP（情報公開ページ） URL： https://www.siba.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス本科 2年制 カレッジコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
190人のうち		33人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） タブレットPC端末使用による授業。年度末において次年度カリキュラム編成。 4月1日をめどにカリキュラム構成完了。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業態度及び出席状況。小テストによる評価。併修校（近畿大学）の科目試験結果。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：出席率80%以上かつ単位取得率80%以上 卒業：出席率80%以上かつ単位取得率80%以上及び進路決定
学修支援等
（概要） タブレット端末によるデータベースでの資料提示。編入受け入れ大学のリスト提示。 各大学のパンフレット提示。面接・小論文指導。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	9人 (90%)	1人 (10%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 県内国公立大学、県内私立大学、団体事務職			
(就職指導内容) 提出書類作成指導、面接指導、試験対策指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日商簿記検定3級、英語検定2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者面談、奨学金説明会、個別面談・指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス本科 国際英米コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年		1760 / 単位時間／単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
190人のうち		34人	人	3人	7人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度末において次年度カリキュラム編成。4月1日をめぐり1年生、2年生、のカリキュラム構成完了。タブレット端末使用による英語授業、外国人教師による英会話指導

成績評価の基準・方法		
・各期末試験の結果・出席率・受講姿勢等 出席状況、英語クラス活動参加（プレゼンテーション・ディスカッションなど）、定期テストによる評価。		
卒業・進級の認定基準		
・出席率 80%以上 ・取得検定数 2 級以上 個 3 級以上 個 ・留学の経験日数 25 日以上		
学修支援等		
・進路指導 ・留学説明会 ・特別授業	・進級三者面談 ・留学相談 ・学科特別キャンプ	・留学報告会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12 人 (100%)	4 人 (33.3%)	8 人 (66.7%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 営業事務 軍従事			
(就職指導内容) 合同企業説明会 個別説明会 履歴書指導 面接指導 インターンシップ			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 英検準 2 級、PC 検定 (Word, PowerPoint、Excel) 、 ビジネス検定、観光英検 3 級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	1 人	4.7%
金銭的な理由 将来的な方向性の変換		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス本科2課程 ワーキングスタディコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
190のうち		40人	人	5人	1人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度末において次年度カリキュラム編成。企業実習先採用担当者のヒアリングを実施し4月1日をめどに構成完了。
成績評価の基準・方法
（概要） 出席状況及び授態度。企業実習先による勤務評価も含め総合的評価をする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級基準 出席率80%以上 検定基準……3級検定を2つ 卒業基準 出席率80%以上 検定基準……3級検定を3つ又は2級検定を1つ 総時間数が1,700時間以上
学修支援等
（概要） 企業研究、職業人講話、企業説明会、就職実務、インターンシップなど

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	人 (%)	21人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） サービス業、観光産業、空港、在日米軍従業員など			
（就職指導内容） 合同企業説明会、個別企業説明会、校内ガイダンス、履歴書指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等） 実用英語技能検定、観光英検、サービス接客実務検定、AI検定 パソコン（Excel、Word、PowerPoint）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	2 人	10 %
(中途退学の主な理由) 就職（1年課程）、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、奨学金説明会、保護者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス本科 国際英米コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年		2640 / 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人のうち	8人	人	5人	3人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）年度末において次年度カリキュラム編成。4月1日をめどに1年生、2年生3年生のカリキュラム構成完了。タブレット端末使用による英語授業、外国人教師による英会話指導	
成績評価の基準・方法	
・各期末試験の結果・出席率・受講姿勢等 出席状況、英語クラス活動参加（プレゼンテーション・ディスカッションなど）、定期テストによる評価	
卒業・進級の認定基準	
・出席率 80%以上 ・取得検定数 2 級以上 個 3 級以上 個 ・留学の経験日数 25 日以上	
学修支援等	
・進路指導 ・留学説明会 ・特別授業	・進級三者面談 ・留学相談 ・学科特別キャンプ ・留学報告会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	7人 (87.5%)	人 (0%)

(主な就職、業界等) 観光業
(就職指導内容) 合同企業説明会 個別説明会 履歴書指導 面接指導 インターンシップ
(主な学修成果(資格・検定等)) 英検準2級、2級、準1級、1級、観光英検3級、2級、PC検定(Word, PowerPoint, Excel)、ビジネス検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専修課程	国際ビジネス本科1課程 ワーキングスタディコース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10のうち		人	人	人	人	人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度末において次年度カリキュラム編成。企業実習先採用担当者のヒアリングを実施し4月1日をめどに構成完了。

成績評価の基準・方法
(概要) 出席状況及び授態度。企業実習先による勤務評価も含め総合的評価をする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級基準 出席率80%以上 検定基準……3級検定を2つ 卒業基準 出席率80%以上 検定基準……3級検定を3つ又は2級検定を1つ 総時間数が1,700時間以上

学修支援等 (概要) 企業研究、職業人講話、企業説明会、就職実務、インターンシップなど

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	人 (%)	21人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) サービス業、観光産業、空港、在日米軍従業員など			
(就職指導内容) 合同企業説明会、個別企業説明会、校内ガイダンス、履歴書指導、面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、観光英検、サービス接客実務検定、AI検定 パソコン（Excel、Word、PowerPoint）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	2人	10%
(中途退学の主な理由) 就職（1年課程）、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、奨学金説明会、保護者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		専門課程	こども未来本科 2年課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		13人	0人	6人	5人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） (概要) ・保育園実習や施設実習等、保育士、幼稚園教諭として勤務したときに有意義な実習を用意する。 ・幼保英検や実用英語検定、幼児体育指導者検定等、各種の検定を用意する。

<ul style="list-style-type: none"> ・12月から2月末において次年度カリキュラム編成並びに担当講師のヒアリングを実施し3月末日をめどに構成完了。
成績評価の基準・方法
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況及び授業態度を評価する。レポート、実技、模擬試験、単元終了時の科目試験等の成績を加味する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級基準 出席率80%以上。検定を受検し、実習に参加し実習単位を取得する。 卒業基準 出席率80%以上。検定を受検し、実習に参加し実習単位を取得する。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・オペアや礼儀マナー等の講師をゲストティーチャーとして招き、効果的な授業を展開する。 ・定期的に面談をもち、学生の将来に向け教育相談を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (%)	11人 (%)	1人 (%)
(主な就職、業界等) 保育園3名 インターナショナルスクール6名 留学2名 進学1名			
(就職指導内容) 企業（保育園・幼稚園）合同説明会 米国留学説明会 求人資料配布			
(主な学修成果（資格・検定等） 幼児体育指導者検定 幼保英語検定 英検 ワードエクセル検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	3人	14.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生、保護者との面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		高度専門課程	こども未来本科 4年課程		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	単位時間／単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	15人	0人	2人	4人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・学童保育実習や小学校実習ボランティアに取り組ませる。 ・パワーポイント検定に取り組ませる。
成績評価の基準・方法
（概要） 出席状況及び授業態度を評価する。レポート、実技、模擬試験、科目試験の成績を評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級基準 出席率 80%以上。検定を受験し、実習単位を取得する。 卒業基準 出席率 80%以上。検定を受験し、実習単位を取得する。
学修支援等
（概要） ・近隣の公立小学校を授業参観する。・学童実習を行う。 ・定期的に面談をもち、小学校教員に向け教育相談を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 学校訪問をし、小学校勤務の実際について説明してもらう。			
(主な学修成果（資格・検定等）) パワーポイント検定に合格。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生、保護者との面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
国際ビジネス本科 (3年制) 国際英米コース	120,000円	540,000円	218,000円	2022年度
国際ビジネス本科 (2年制) カレッジコース	120,000円	570,000円	623,000円	2022年度
国際ビジネス本科 (2年制) 国際英米コース	120,000円	540,000円	218,000円	2022年度
国際ビジネス本科 (2年制) ワーキングスタディコース	120,000円	480,000円	218,000円	2022年度
国際ビジネス専修科	120,000円	480,000円	213,000円	2022年度
こども未来本科 (4年制)	120,000円	480,000円	650,000円	2022年度
こども未来本科 (2年制)	120,000円	480,000円	650,000円	2022年度
修学支援(任意記載事項)				
学校HP(情報公開ページ) URL: https://www.siba.ac.jp/expenses/				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HP(情報公開ページ) URL: https://www.siba.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校職員以外の5名以上の委員により年度内1回(2月)会議を実施する。学院長は、自己評価結果をこの会議で報告し、学校運営、教育活動、学修成果、教育環境、財務、法令順守等の項目に関する評価や指導、助言を委員達から得る機会を設ける。運営責任者により、学校関係者評価委員会による評価結果をまとめ報告書を作成し公表、教職員は、その結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専業主婦	2年	本校保護者
小学校教員	2年	本校卒業生

那覇市立泊小学校 P T A	2年	地域住民
(有) 泊書籍	2年	地元企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校HP (情報公開ページ) URL: https://www.siba.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HP (情報公開ページ) URL: https://www.siba.ac.jp/disclosure/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H147320100204
学校名	尚学院国際ビジネスアカデミー
設置者名	学校法人 尚学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		60人	56人	60人
内 訳	第Ⅰ区分	36人	29人	
	第Ⅱ区分	17人	16人	
	第Ⅲ区分	7人	11人	
家計急変による支援対象者（年間）				1人
合計（年間）				61人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	1人	1人
計	0人	1人	1人
(備考) 後半期1人は短縮卒業時に「警告」の区分に連続して該当により廃止			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	0人
		後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	3人
3月以上の停学	0人
年間計	3人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	3人	0人	6人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	1人	1人
計	3人	1人	7人
(備考) 1人は「GPA等が1/4」「出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況」に重複該当（後半期）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。